

私は、令和5年度野田市一般会計、野田市後期高齢者医療特別会計に反対し、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、次木親野井特定土地区画整理事業特別会計、水道事業会計、下水道事業会計のそれぞれの特別会計に賛成の討論を行います。

今年度の当初予算は前年度と比較した場合に減額となっていますが、個人及び法人市民税は、前年度比では、増収を見込んでいます。また、普通交付税が前年度より10億300万円の25.2%の増となりました。普通交付税の不足分を補う臨時財政対策債が前年度比で8億8,300万円、69.6%の減となり特徴的なことだと思います。

さて、評価する事業もありますが、反対の討論のため、主にその理由を申し述べたいと思います。

総務費では会計年度任用職員制度は、働く公務員を疲弊させてしまう制度です。野田市においては、なるべく長く働いてもらいたいとする意向がありますが、採用される側も採用する側も疲弊し、行政改革大綱をも見直しを行いました。公務員の貧困化は問題でありさらに見直しを求めます。市民サービスの向上につながらず、制度に反対です。

次に、個人番号制度です。新年度の予算においては、マイナンバーカードの発行率による大きな影響はなく、いわゆるトップランナー方式と思われる上位3分の1の自治体への交付額が多かったとの答弁がありました。令和6年度からは、その発行率が影響することになり問題だと思っています。2024年秋には現在の健康保険証が廃止されるとも言われ、マイナンバーカードの申請は任意であったはずが、義務になるかもしれず、大きな懸念があります。

国際交流推進に関連して質問では、外国籍の住民への対応の向上は、是非進める必要があります。現在の対応では、不十分だと考え、新年度は積極的な態勢づくりを求めます。

ふるさと納税について、反対とは言いません。しかし上限額があるとはいえ、有利に税金が控除される仕組みで、自治体の減収分の差額の75%が地方交付税で補填されますが、問題だと思います。寄付したい、応援したい自治体よりも欲しい返礼品を目当てに選ばれる傾向だと感じています。野田市の特産物が広まることは喜ばしいことですが、この仕組みの改正を国に求めるべきです。

民生費に係る事業としては、福祉の分野における指定管理者制度です。今議会に出された南部保育所と尾崎保育所の指定管理者の指定の議案には、公募制を取りながら1者による参加しかありませんでした。公設の保育所でありながら、指定期間が終わるたびにころころと変わることや営利を目的とする株式会社には、なじまないとの意見で、福祉の分野における指定管理者制度を対象とすることには賛成できません。

衛生費については、ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種について慎重な周知をお願いします。この4月からシルガード9が定期接種の対象となりました。一部の情報によれば、シルガード9は、これまでの2価と4価よりも副反応の確率が高いとも聞きます。子宮がん検診を受けるハードルが高く受診率が上がっていないことに注視してほしいと思います

新清掃工場建設の審議会の答申した候補地を、ハザードマップの改定に伴う見直しで断念した経緯等について、市の説明は不十分との声を市民の方からいただきました。断念に至ったことに反対しませんが、今後厳しい状況に変わりはありません。自区内処理を優先すべきとは考えますが、広域化も考えていくとの答弁でした。三ツ堀にある清掃工場の老朽化、断念した候補地においても、万が一の災害時における一時的な廃棄物の置場も想定し、十分な敷地面積の確保を提案したと思います。様々な課題があり、計画的に進めていただきたいと思いません。加えて、ごみ袋の記名式には反対であることを申し添えます。

農林水産費について、学校給食に黒酢米100%の提供は、減農薬の食品を増やしていく方向性としては評価できます。農業施策としてもオーガニックや減農薬に向けた積極的な取組に期待します。オーガニックビレッジ宣言をした木更津市や佐倉市の動向を注視していただきたいと思いません。

土木費については、新年度から始める道路補修の事業を強化するために道路サービス課を設置するとの報告でした。市民に見える形で改善されることに期待します。

また、野田市が進める東京直結鉄道誘致活動に関する計上については、野田市駅前の開発が進む中で周囲の土地の利用も進んでいます。新たに鉄道延伸が叶ったとしても、駅周辺による新たな開発には限界があり、通過駅となる可能性もあります。財政的な負担を増やしかねないと懸念する事業です。

教育費について、土曜授業については、当初から反対してきました。全国学力調査テストの順位が低位だったことから取り組まれた経緯があります。順位よりも学ぶことへの関心を高めることは土曜授業以外でも可能であると思っています。今後の検証に期待し、児童生徒及び教職員にとって、よい結果を出してほしいと思います。二学期制も反対です。

数日前に政治家による学校給食の無償化の発言がありました。しかし、私は今の状況での無償化は、給食の質を落としかねないと心配しています。給食自体の自校式とセンター方式の差を埋めること、有機農産物との連携と農業施策を重視することも重要です。

また中学校の制服等のジェンダーレス化の動きも進めてほしいと要望いたします。

諸支出金について、公共施設整備基金への積立ては注目しています。今後増額

されていくとは思いますが、個別計画については、国の補助金の付き方等が不透明で具体化しにくい状況であることは理解します。しかし、令和4年度に判断した総合公園の水泳場の更新については、計画的であるとは思えません。市民1人当たりの公共施設の面積は、野田市は他市に比べてもそう広くはなく、市民の財産としての公共施設の更新には市民も関心を寄せています。

国保特別会計は、加入者負担の軽減に努められ、法定外繰入れの増額を行い、保険料を引き上げなかったことを評価し、賛成するものです。国保の都道府県化により、法定外繰入れを抑制する国の方針ですが、市民の健康と命を守る施策であるべきです。

介護保険特別会計は、地域包括ケアシステムの推進に御尽力いただきますようお願いいたします。介護を社会で担うとの意気込みで始まりましたが、改正のたびに使いにくくなり、来年度から始まる第9期への改定の内容には注視しています。令和5年度の特別会計には賛成といたします。地域包括支援センター（高齢者なんでも相談室）を市民が活用しやすくなるような工夫をお願いします。

後期高齢者医療保険は、当初から広域化でのスタートで、75歳以上を対象とした年齢で区切る制度に反対してきました。既に来年度からの負担増については、さらに厳しくなりそうで憂慮しています。

水道事業は、賛成といたします。新たな水源の確保に注目したいと思います。水利権については、10年ごとの更新によるものですが、取水をしなければ、手放さざるを得ず今後の動向が気になります。水需要の想定にあった施設の建設を求めます。水道料金に影響しないか気になります。

下水道事業は、地域の実情に合わせ、合併浄化槽の設置を推進してほしいと申し添え賛成といたします。

以上、賛成と反対する理由を述べての討論といたします。